

※(その2)も同様に氏名・受験番号を表示してください。

2級
解答用紙
(その1)

氏名		受験番号シール貼付欄
姓	姓をカタカナで記入してください。	受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
	建設業経理実務研究会	
名	名をカタカナで記入してください。	シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。

【第1問】

仕訳 記号(A~Z)も記入のこと

No.	借方			貸方		
	記号	勘定科目	金額	記号	勘定科目	金額
(例)	B	当座預金	1000000	A	現金	1000000
(1)	P	未成工事受入金	2100000	R	完成工事高	2100000
	C	受取手形	1890000			
(2)	K	機械装置	5050000	B	当座預金	5050000
(3)	F	材料	1195200	B	当座預金	1195200
(4)	A	現金	1500000	H	建物	5000000
	M	減価償却累計額	1200000			
	Z	火災損失	2300000			
(5)	Q	貸倒引当金	180000	D	完成工事未収入金	300000
	U	貸倒損失	120000			

【第2問】

(1) ¥

1	3	0	0	0
---	---	---	---	---

 (2) ¥

	4	2	2	0
--	---	---	---	---

 (3) ¥

1	5	0	0	0
---	---	---	---	---

 (4) ¥

1	9	3	0	0
---	---	---	---	---

2級
解答用紙
(その2)

氏名		受験番号シール貼付欄
姓をカタカナで記入してください。		受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
姓	建設業経理実務研究会	
名をカタカナで記入してください。		シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。
名		

【第3問】

材料費	¥	554200
労務費	¥	654000
外注費	¥	1202000
経費	¥	438800

【第4問】

問1

記号 (ア~ク)

1	2	3	4
オ	工	ア	キ

問2

完成工事原価報告書

(単位：円)

I. 材料費	374010
II. 労務費	220300
III. 外注費	206800
IV. 経費	193820
完成工事原価	994930

工事間接費配賦差異月末残高 ¥ 191 記号 (AまたはB) A

建設業経理実務研究会

[第5問]

精 算 表

(単位：円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	1885000		① 1800000				3685000	
受取手形	9600000						9600000	
完成工事未収入金	11800000						11800000	
貸倒引当金		3000000		② 1280000				4280000
未成工事支出金	7500000		④ 2500000 ⑤ 2000000 ⑥ 2400000	③ 1350000 ⑦ 726500			9250000	
材料貯蔵品	1320000						1320000	
機械装置	6880000						6880000	
機械装置減価償却累計額		3150000		③ 2500000				3400000
備品	4000000						4000000	
備品減価償却累計額		1600000		③ 800000				2400000
建設仮勘定	2900000						2900000	
投資有価証券	2500000			③ 1400000			1100000	
支払手形		1500000						1500000
工事未払金		4600000						4600000
借入金		6200000						6200000
未成工事受入金		2500000						2500000
完成工事補償引当金		780000	⑧ 1350000					6450000
退職給付引当金		3800000		④ 6800000 ⑨ 2400000				4720000
資本金		10000000						10000000
繰越利益剰余金		8200000						8200000
完成工事高		64500000				64500000		
完成工事原価	41478000		⑦ 8500000 ⑩ 726500		43057500			
販売費及び一般管理費	8820000		⑤ 1280000 ⑧ 800000 ⑨ 680000 ⑩ 380000	⑥ 1500000	10658000			
受取利息配当金		150000				150000		
支払利息	3800000				3800000			
	99063000	99063000						
償却債権取立益				① 1800000		1800000		
投資有価証券評価損			③ 1400000		1400000			
修繕引当金				⑤ 2000000				2000000
工事損失引当金				⑦ 850000				850000
前払家賃			② 1500000				1500000	
未払金				⑩ 380000				380000
未払法人税等				① 4329000				4329000
法人税、住民税及び事業税			⑩ 4329000		4329000			
			13747000	13747000	59821500	66315000	50685000	44191500
当期(純利益)					6493500			6493500
					66315000	66315000	50685000	50685000

建設業経理士 第10回 (平成23年度・上期) 解説

[第2問]

(1)

	借 方		貸 方	
	諸口	工事未払金	諸口	未成工事受入金
現場作業員給与支払		120,000		
本社事務員給与	50,000			
手形代金支払	80,000			
工事代金の前受			200,000	
計	130,000	120,000	200,000	

(2)

本店での仕訳	支店			
(支店) 730 (材料) 730	期首	3,250	現金	280
(現金) 280 (支店) 280	材料	730		
(支店) 520 (現金) 520	現金	520		

期末残高：3,250 + 730 + 520 - 280 = 4,220

(3) 借り入れと同額の手形の振り出し：手形借入金

営業保証の目的で手形の振り出し：営業保証支払手形

材料代金の支払いのために手形振り出し：支払手形

(4) @200 × 1,000 個 - 値引 3,000 - 割戻 4,000 = 193,000

(材料)	193,000	(現金預金)	177,000
		(仕入割引)	6,000

[第3問]

	材料費	労務費	外注費	経費
前月繰越	235,000	198,000	382,000	58,800
5月取引	325,000 - 5,800	456,000	820,000	85,000
				35,000
				108,000
				27,000
				125,000
合計	554,200	654,000	1,202,000	438,800

[第4問]

問2 当月完成工事は74と76である。

工事番号	74		76	計
	前期繰越	当月	当月のみ	
材料費	91,450	35,220	247,340	374,010
労務費	59,040	26,270	134,990	220,300
外注費	64,820	41,500	100,480	206,800
経費	37,610	23,420	64,630	193,820
		15,620	52,540	

工事間接費

諸口	105,937	未成工事	102,240
		支出金へ	
		差異	3,697

工事間接費配賦差異

工事 間接費	3,697	前月繰越	3,506
		借方差異	191

[第5問]

(1) (現金預金) 180,000 (償却債権取立益) 180,000

(2) (販売費及び一般管理費) 12,800 (貸倒引当金) 12,800

売上債権の期末残高に対して差額補充法により貸倒引当金を計上します。

受取手形 完成未収入金 貸倒引当金残高

繰入額: (960,000 + 1,180,000) × 2% - 30,000 = 12,800

(3) (投資有価証券評価損) 140,000 (投資有価証券) 140,000

(4) ①機械装置

(未成工事支出金) 25,000 (機械装置減価償却累計額) 25,000

予定計上額 10,000 × 12ヶ月 = 120,000 ← 計上済み

実際計上額 145,000

145,000 - 120,000 = 25,000 ← 計上不足

実際発生額より予定計上額が25,000過少となっています。実際発生額と合わせるため、工事原価と機械装置減価償却累計額を25,000仕訳して、増額修正します。

②備品

(販売費及び一般管理費)	80,000	(備品減価償却累計額)	80,000
--------------	--------	-------------	--------

定額法による年間減価償却費：400,000÷5=80,000

(5) (未成工事支出金)	200,000	(修繕引当金)	200,000
---------------	---------	---------	---------

(6) (販売費及び一般管理費)	68,000	(退職給付引当金)	68,000
(未成工事支出金)	24,000	(退職給付引当金)	24,000

<本部事務員>

実際発生額 68,000 を年度末に一括して販売費および一般管理費と退職給付引当金に計上します。

<現場作業員>

予定計上額 13,000×12ヶ月=156,000 ← 計上済み

実際計上額 180,000

180,000-156,000=24,000 ← 計上不足

実際発生額に対して年間予定計上額が 24,000 過少となっています。実際発生額に合わせるため、工事原価と退職給付引当金をそれぞれ増額修正します。

(7) (完成工事原価)	85,000	(工事損失引当金)	85,000
--------------	--------	-----------	--------

(8) (完成工事補償引当金)	1,350	(未成工事支出金)	1,350
-----------------	-------	-----------	-------

完成工事高に対して差額補充法により完成工事補償引当金を計上します。

完成工事高 6,450,000 × 0.1% - 完成工事補償引当金残高 7,800 = △1,350

なお、当期の計上額が残高試算表上の完成工事補償引当金より小さいため、上記の仕訳となります。

(8) (完成工事原価)	72,650	(未成工事支出金)	72,650
--------------	--------	-----------	--------

未成工事支出金勘定の記入面から完成工事原価への振替額を推定します。

未成工事支出金			
前 T/B	750,000	(8)	1,350
(4)	25,000	完成工事原価	72,650
(5)	200,000	次期繰越	925,000
(6)	24,000		
	<u>999,000</u>		<u>999,000</u>

(9)	(前 払 家 賃)	15,000	(販売費及び一般管理費)	15,000
	(販売費及び一般管理費)	38,000	(未 払 金)	38,000

本社事務所家賃の前払分については繰延し、営業経費の未払分は未払金計上します。

(10)	(法人税、住民税及び事業税)	432,900	(未 払 法 人 税 等)	432,900
------	----------------	---------	---------------	---------

上記(1)～(9)の決算整理仕訳に基づいて、精算表の整理記入欄に転記し、収益と費用について整理後の金額を先に損益計算書欄に転記します。この段階での損益計算書欄の貸方合計（総収益）と借方合計（総費用）との差額として税引前当期純利益を算定できます。

税引前当期純利益：総収益（6,631,500）－総費用（5,549,250）＝1,082,250

法人税、住民税及び事業税：税引前当期純利益（1,082,250）×税率（40%）＝432,900

<参考>

損益計算書

完成工事原価	4,305,450	完成工事高	6,450,000
販売費及び一般管理費	1,065,800	受取利息配当金	1,500
支払利息	38,000	償却債権取立益	180,000
投資有価証券評価損	140,000		
税引前当期利益	1,082,250		
	<u>6,631,500</u>		<u>6,631,500</u>